

皆さんの声で

未来のまちづくり

平成十六年度 第三十三回 世論調査結果報告

「身近な地域の治安と防犯活動」「水道水」について

市では、市政に皆さんの声を反映していくために、行政懇談会や市政モニター、市長への手紙、陳情・要望書など、さまざまな制度を設けています。

また、毎年世論調査を実施しており、第三十三回目となる今回は、「身近な地域の治安と防犯活動」と「水道水」をテーマに行いました。その結果がまとまりましたので、お知らせします。



行政懇談会の様子（11月5日 富士駅南公民館）

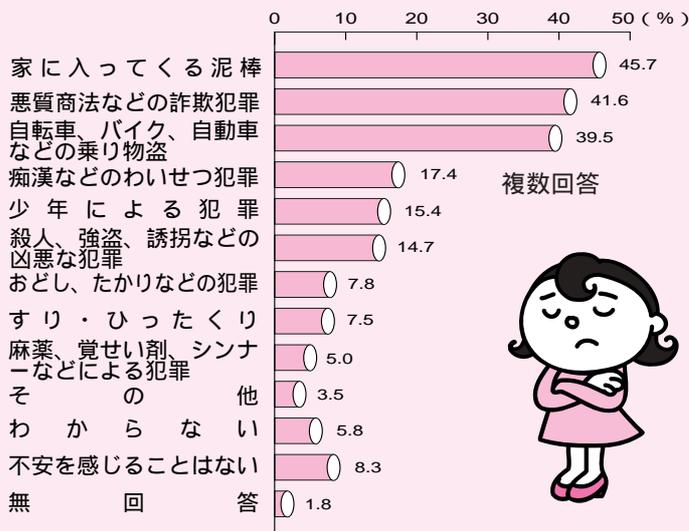
データ

対象 市内在住で満20歳以上の3,000人
抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
調査期間 平成16年6月14日～7月1日
調査方法 郵送調査
有効回収数(率) 1,784人(59.5%)

調査結果の比率は百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

身近な地域の治安と防犯活動について

Q1 「あなたの住んでいる地域」では、犯罪による不安を感じることがありますか。



六十代以上の不安は、「オレオレ詐欺」などの詐欺犯罪

地域で不安を感じる犯罪については、「家に入ってくる泥棒」、「悪質商法などの詐欺犯罪」、「自転車、バイク、自動車などの乗り物盗」の三つが四割前後と多くなっています。

年齢別に見ると、六十代以上の世代では、不安を感じるもの一位が「悪質商法などの詐欺犯罪」となっています。これは、最近新聞やテレビなどでも頻繁に報じられている「オレオレ詐欺」や「架空請求」への関心によるものと考えられます。



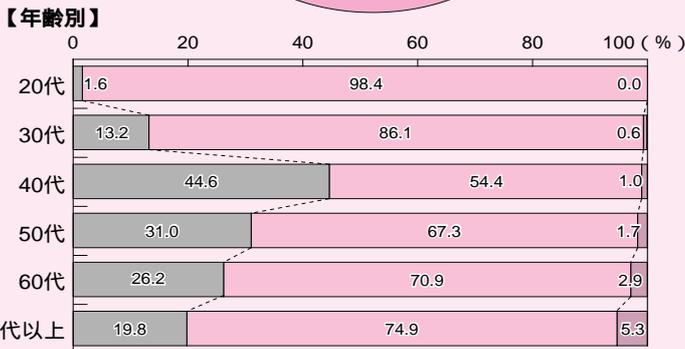
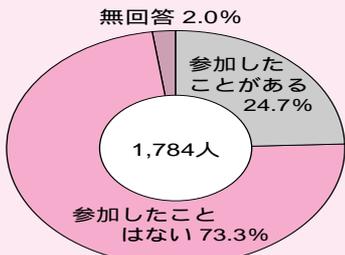
注意を呼びかける看板を設置する、「富士北地区防犯まちづくり推進会」

Q 「あなたの住んでいる地域」では、これから犯罪はふえると思いますか。

半数以上が、今後の犯罪の増加を懸念

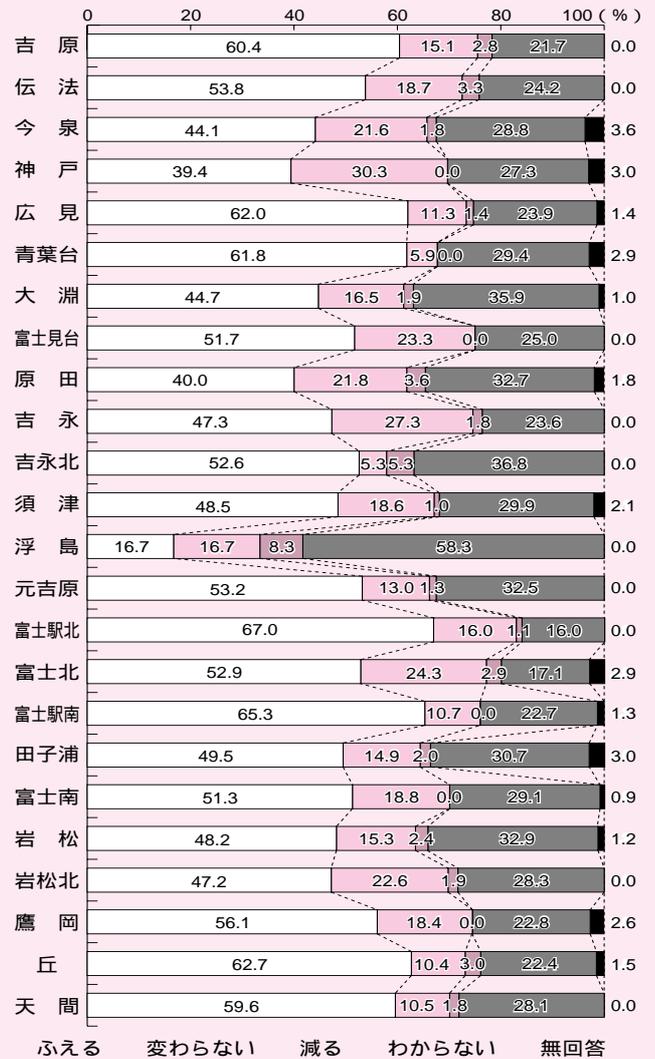
今後の犯罪については、「ふえる」と回答した人が最も多く、非常に「ふえる」と合わせる、全体の半数以上が「ふえる」と回答しています。地区別に見ると、ほとんどの地区で「非常にふえる」または「ふえる」が多数となっており、特に吉原、広見、青葉台、富士駅北、富士駅南、丘では「ふえる」が六割以上を占めています。

Q あなたは、住民による地域の安全を守るための活動（防犯パトロールや防犯街頭啓発活動など）に参加したことがありますか。



防犯活動への参加状況については、「参加したことはない」が七三・三%、「参加したことがある」が二四・七%となっており、防犯活動への参加経験があるのは約四人に一人となっています。年齢別に見ると、参加したことがある「は四〇代が四四・六%で最も多く、最も少ないのは二〇代で、わずか一・六%にとどまっています。

防犯活動への参加経験は四人に一人



身近なところから防犯の呼びかけを

「うらまち21」は、主に浦町区の住民で結成された、奉仕活動を行う団体です。これまで、富士まつりの「ごみバスターズ2」をはじめ、さまざまな行事にボランティアとして参加してきました。今年度から新たに区内の「防犯安全パトロール」を始め、月に二回ほど、防犯を呼びかけるプラカードを掲げて、地区内を巡回しています。

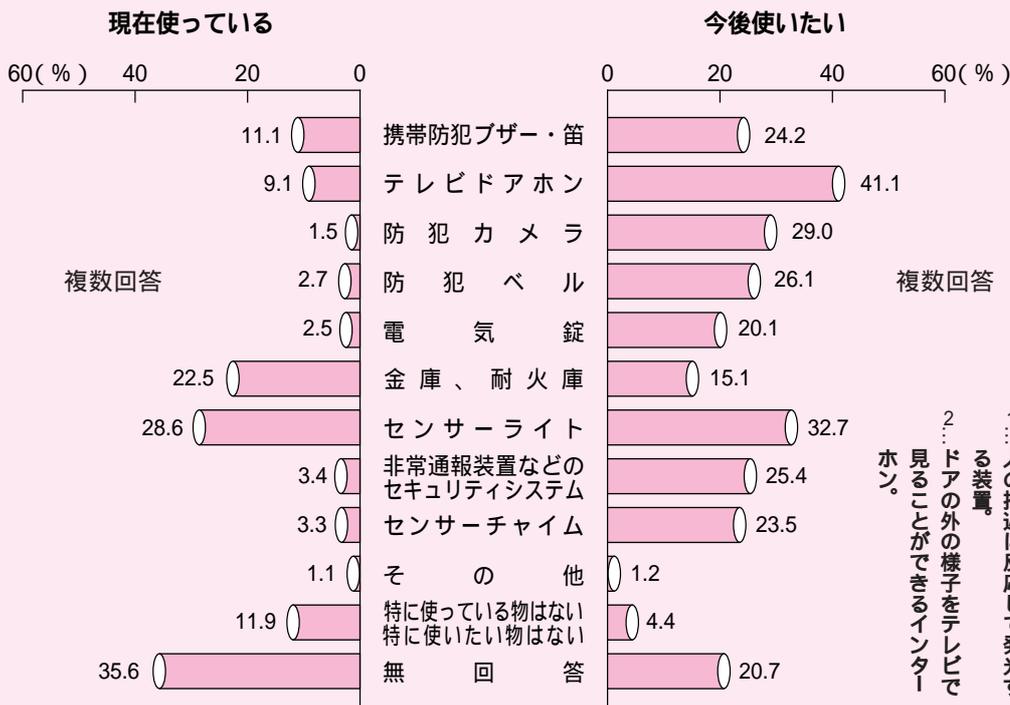
初めての試みで、不安もたくさんありましたが、不定期で直前の召集にもかかわらず、毎回多くの会員が積極的に参加してくれました。また、最近では地域の人が「ご苦労さま」と声をかけてくれるようになり、この活動が少しずつ地域に浸透し始めたことを実感し、励みに思っています。会員と住民の皆さんの協力があつてこそその活動だと、感謝しています。

私たちが、身近なところから防犯を呼びかけることで、市全体の防犯に対する意識が高まっていくと信じ、これからも続けていきたいと思っています。



防犯安全パトロールを行う「うらまち21」会長 望月 静雄さん（松岡）

Q あなたは、以下に挙げたような防犯システムを使用していますか。また、今後新たに使いたい、あるいは引き続き使いたい防犯システムは何ですか。



テレビドアホンや、センサーライト設置希望者が多数

現在使っている防犯システムは、「センサーライト」が二八・六%と最も多く、次いで「金庫、耐火庫」となっています。

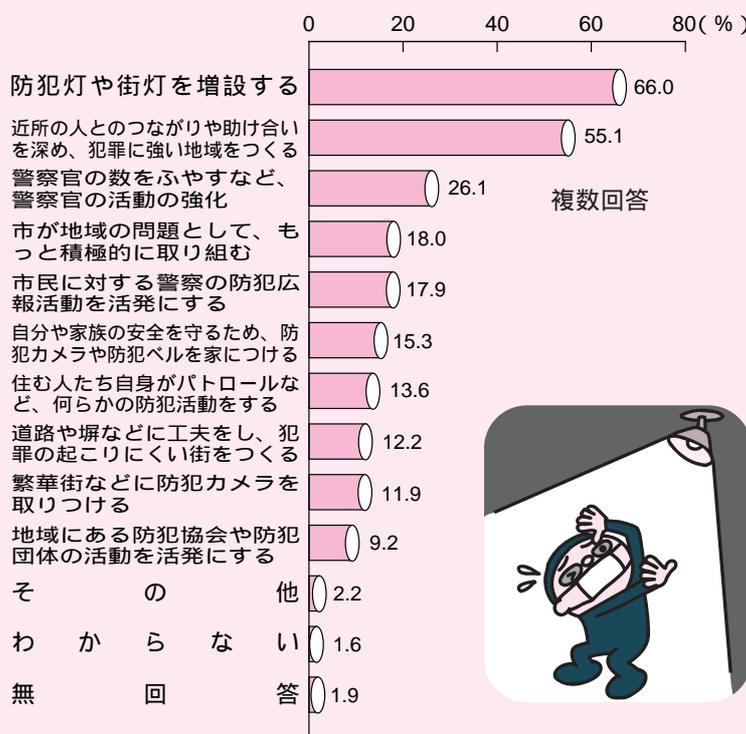
また、今後使いたい防犯システムは、「テレビドアホン」が四一・一%で最も多く、次いで「センサーライト」、「防犯カメラ」となっており、現在の使用の割合が高い「金庫、耐火庫」を除いたすべての防犯システムで二割以上の利用希望となっています。

1...人の接近に反応して発光する装置。
2...ドアの外の様子をテレビで見ることが出来るインターホン。

自由意見

- 近年の事件などが、暗い夜道で起こるケースがふえている点から、街灯をふやす対策をとるべき。
- 特に夜間の繁華街、コンビニなど、青少年がたむろする場所への警察官のパトロール強化と指導を望む。
- 地区ごとに、昼間もいるいるな場所（子どもが入ったら危険な場所など）をパトロールしてはどうか。
- 大人がもっと積極的に取り組んでもらいたい。
- 交番は不在のときが多い。交番に常に一人はいるようなシステムが望ましい。
- 近隣とのつき合いが希薄になり、お互い無関心になっている。声をかけ合い、あいさつを交わし、助け合っていく地域社会ならば、おのずと他人のことに目が届き、治安や防犯につながると思う。
- 地域内の犯罪が発生した場合、情報を流し、住民一人一人が注意できるようにしてほしい。
- 家庭のしつけや親子関係がとて大切だと思つ。
- 小学校はできれば集団登校、無理ならば先生やPTAが通学路に出て立っ
- 防犯ブザー、テレビドアホンなどに補助制度を設ける。

Q あなたは、身の回りで起きる犯罪を防止するため、どのような手だてを進めることが必要だと思いますか。



犯罪防止に有効なのは暗い場所をなくすこと

犯罪防止のために必要と思う手だてとして、全体の三分の二が「防犯灯や街灯を増設する」を挙げ、「近所の人とのつながりや助け合いを深め、犯罪に強い地域をつくる」が続きます。別の設問にて「地域において、犯罪の被害に遭いそうであると感じる場所は」という問いに対し、七割以上が「人通りの少ない暗い道」と答えたことからわかるように、多くの市民が暗い道に、防犯灯の設置を求めています。

水道水について

Q あなたが飲んでいる水道水はおいしいと思いますか。

水道水の味については、全体で見ると、「普通」が最も多く、「おいしい」と「とてもおいしい」を合わせた「おいしい」は約三割、「あまりおいしくない」と「おいしくない」を合わせた「おいしくない」は約二割となっています。

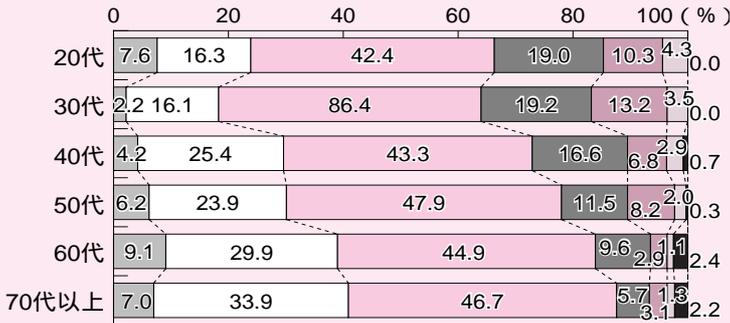
年齢別に見ると、「おいしい」の割合が最も高かったのは七十代以上で約四割を占めています。一方

年齢、居住年数によって意見に相違

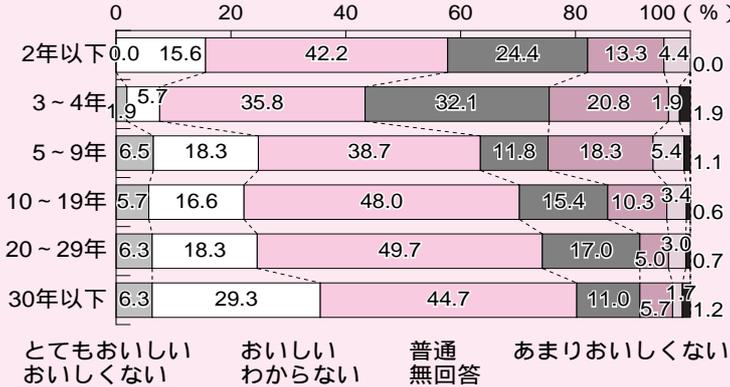
三十代では「おいしい」の割合が二割以下にとどまっています。また、三十代以下では「おいしくない」が「おいしいを上回り、四十代以上ではその割合が逆転しています。

居住年数別に見ると、居住年数が長いほど、「おいしい」の割合が高く、三十四年では「おいしくない」が半数以上を占めています。また、二年以下では、「とてもおいしい」と答えた人はいませんでした。

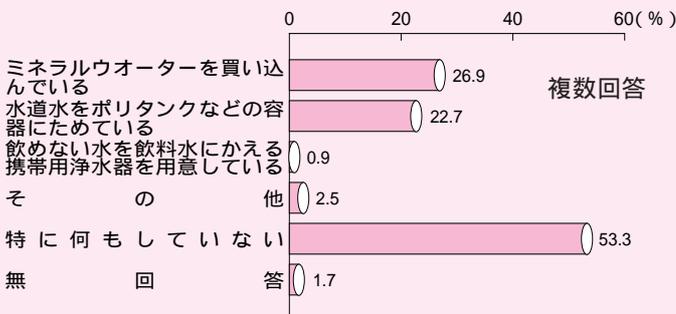
【年齢別】



【居住年数別】



Q あなたは、地震などの災害時における断水や給水制限が起きた場合の飲料水の備えとして、何をしていますか。



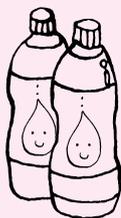
災害時における飲料水については、「特に何もしていない」が半数以上を占めています。年齢別に見ると、若い年代ほど、その割合が高く、二十代では七割以上が「特に何もしていない」と答えています。

富士市は水が豊富であり、市民の皆さんも断水の経験がほとんどないため、断水に対しての備えをしていない人が多いものと思われる。

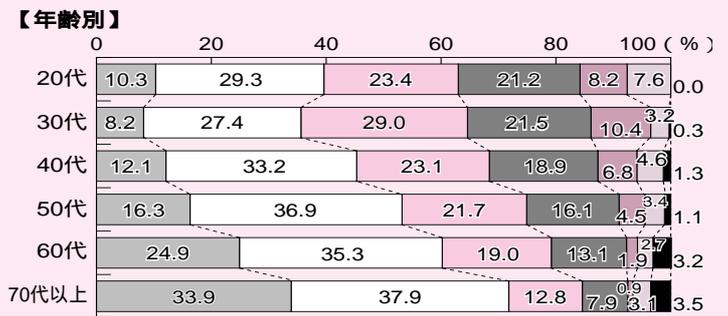
「もしも」のときのために飲料水の確保を

家庭にも、非常用として、一人一日三リットルの水を、最低でも三日分用意しておくことが必要です。

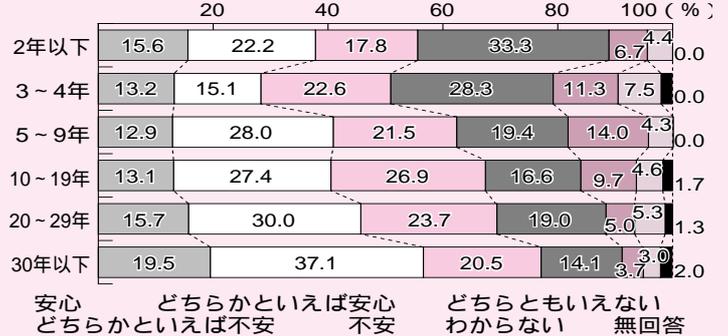
災害など、断水時の応急給水や応急復旧について、市では、市内に五十六社ある指定工事店と連携をとり、一刻も早い対応をとっていきます。



Q あなたの家で利用している水道水の安全性について、どう思いますか。



【居住年数別】



水道水の安全性について、全体では、「安心」と「どちらかといえば安心」を合わせた「安心」が半数以上を占めると、半数以上が「安心」と答えています。

年齢別に見ると、高い年代になるほど「安心」とする人が多い傾向にあります。居住年数別に見ると、三十四年以上の人は、半数以上が「安心」と答えているのに対し、二年以下、三十四年においては、約四割が「不安」と答えています。

半数以上が、水道水の安全性を評価

皆さんの“安心”のために努力しています

市では、皆さんがいつも安心して水道水を利用できるよう、水道法に基づく厳しい水質検査を行っています。五十項目にも及ぶ検査結果は、すべて水質基準値以下で、厚生労働省の「おいしい水研究会」による、「おいしい水」の基準にも当てはまる市に選ばれています。検査結果などは水道事業年報にまとめ、市民の皆さんも閲覧できるよ



水道部長 鈴木 孝正

うになっています。
「ご意見の多かった「塩素臭」については、水質基準を守るための必要最小限の対応をしていますが、水をペットボトルなどに入れ、栓を閉めず冷蔵庫で一晩冷やすと、塩素が抜け、よりおいしく飲むことができます。
「料金が高い」というご意見もありますが、富士市の水道料金は、人口が同規模の市の中で、全国で三番目に安く、今後でもできるだけ値上げをしないよう努力していきます。
今回の結果を見て、市民の皆さんの水道水に対する意識の高さを改めて実感しました。今後も皆さんに安全な水をお届けしていきたいと思えます。



お忙しい中、今回の調査にご協力くださいました皆さん、ありがとうございました。皆さんからいただいた貴重なご意見を今後の市政の参考にし、まちづくりを進めていきます。
詳しい調査結果は、各図書館や富士市のホームページ (<http://fujishi.jp/>) で閲覧できます。

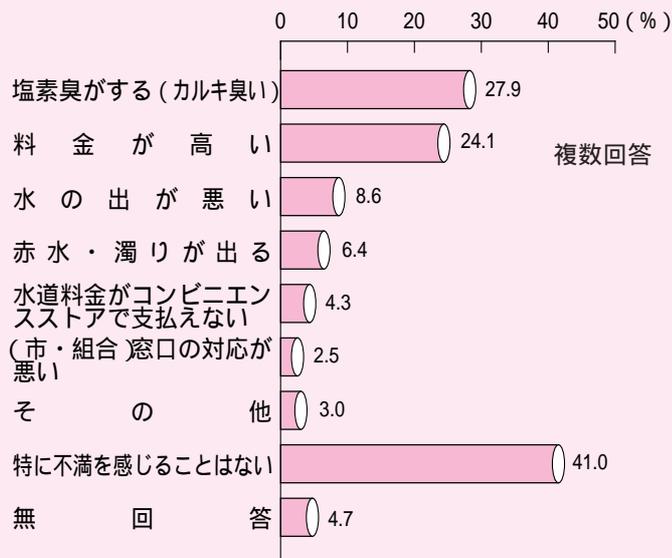
世論調査に関する問い合わせ

広報広聴課

☎55-2700 FAX 51-1456

E kouhou@city.fuji.shizuoka.jp

Q あなたは、水道水や水道事業に不満を感じる
ことがありますか。



水道水や水道事業に不満を感じることで、「塩素臭がする(カルキ臭い)」と「料金が高い」が二割以上とやや多いものの、約四割の人が「特に不満を感じることはない」と答えています。また、「水道水の味を『おいしくない』と答えた人の約六割が、理由として「塩素臭がする(カルキ臭い)」を挙げています。また、「おいしくない」と答えた人は、不満を感じる割合が高い傾向にあります。

約四割は「不満なし」

自由意見

- 他県から富士市に帰ってくると、富士では水道水を自然に口にできて、つくづくありがたく思う。富士の水は本当においしい。これからも安心して飲める水、おいしい水をお願いしたい。
- 富士市は富士山のふもとであるので、全国で一番おいしい水だとPRできるようなってほしい。
- カルキのにおいが気になるときがあるので、できるだけ天然のおいしい水が飲めるようになってほしい。
- 市はもっと「節水」についてPRすべき。
- 水源の安心はあっても、水に対してもう少し節水する市民意識が必要と感ずる。
- 他県から富士市に帰ってくると、富士では水道水を自然に口にできて、つくづくありがたく思う。富士の水は本当においしい。これからも安心して飲める水、おいしい水をお願いしたい。
- 産業の発展とともに、化学物質による水の汚染が心配。仕事上、水はなくてはならないもの。水量もたくさん使用するの、料金は公平に一律にしてもらいたい。
- 水質に疑問を感じ、浄水器を使っている。子どもが安心して飲める水を提供してほしい。